

平成 31 年度 学校研究課題について

《学校教育目標》

志高く

○優しさのある生徒

○自ら学び考える生徒

○たくましく生きる生徒

研究主題 「確かな学力を身につけた心豊かな生徒の育成」
—英語「ラウンドシステム」の考えを生かした授業—

研究のねらい及び仮説

ねらい：すべての生徒が自信をもって授業に臨み、学力を高めることができる

仮 説：

- (1) 学習意欲を高める指導法や学習活動の充実を図ること
- (2) 落ち着いて授業に参加できる学習環境を整備すること
- (3) 学習規律や生活規律を徹底すること

以上のことより、学習意欲が高まり主体的に学ぶ生徒が育成でき、学力の向上につながるであろう。

研究の手だて

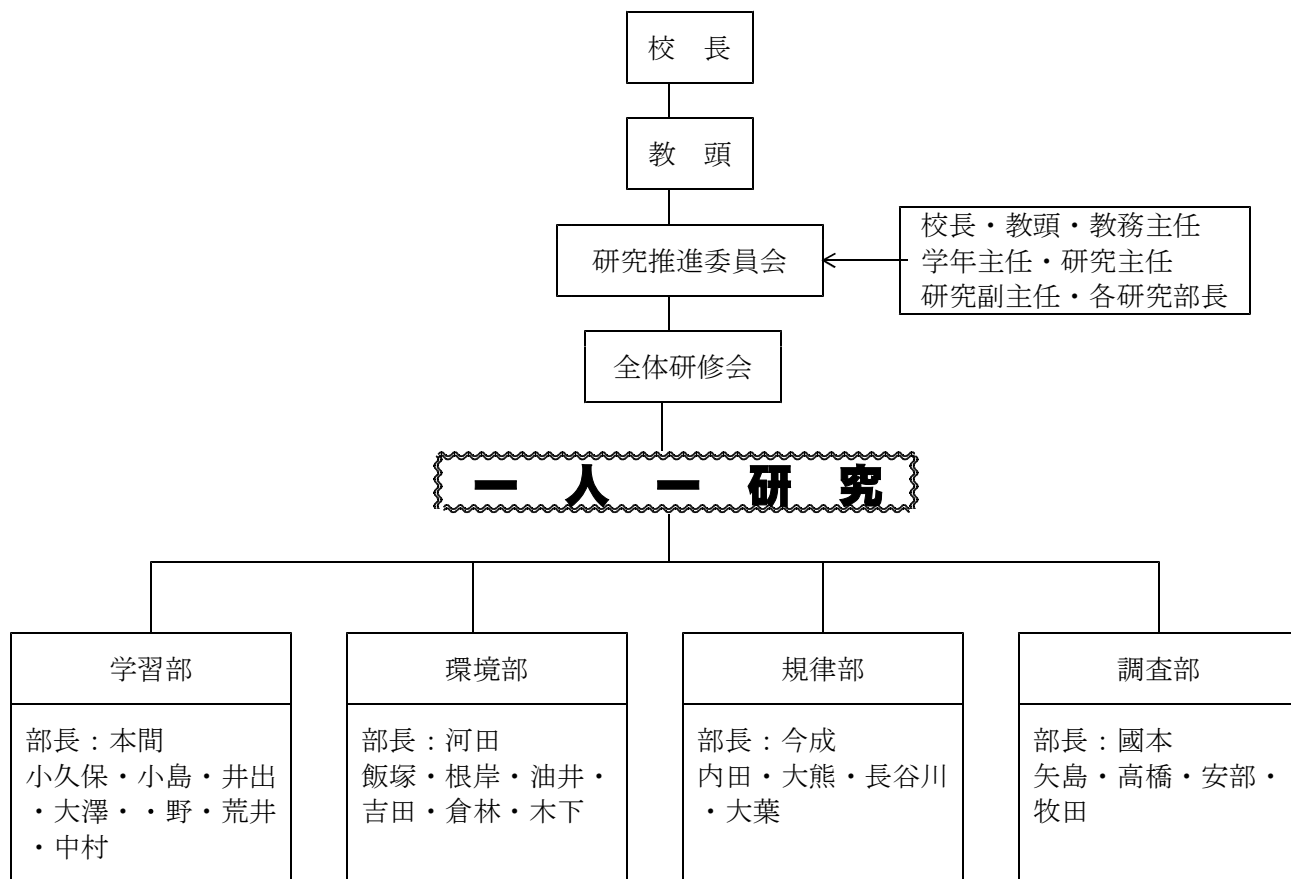
- (1) から
 - ①教師の指導力向上
 - ②1時間あたりの授業改善
 - ③本時の目標（「ねらい」と「まとめ」）の明確化
 - ④ノートの取り方指導
 - ⑤家庭学習の習慣化
 - ⑥板書指導の工夫（見通しと振り返り）
 - ⑦学習形態の工夫（教科の特性や学習内容に応じたグループ学習、少人数指導の活用）
 - ⑧主体的・対話的で深い学び
 - ⑨教師「笑顔」「賞賛」「対話」 生徒「笑顔」「はい」「うなずき」
- (2) から
 - ①教室環境の整備（整理整頓後始末、掲示物の精選）
 - ②学級活動コーナーの活用と充実
 - ③年間における体験活動の確保と実施（人間関係づくり）
- (3) から
 - ①授業開始・終了の挨拶、チャイムスタートの徹底
 - ②発表をするルール、発表を聞くマナーの定着
 - ③姿勢、返事、あいさつの徹底
 - ④「静と動」のメリハリ（自主・自立）

一 人 一 研 究

（研究授業は一人3回程度）

- ・学習指導要領
- ・教育に関する3つの達成目標
- ・「4つの実践」「熊谷市3減運動」

研究組織



一人一研究の取り組み

- ・各自が研究テーマを決め、各自で研究に取り組む
例)・学習形態を工夫した社会科の授業づくり ・かまってかまってかまいまくる授業実践
・英検3級取得者50%以上を目指した教科指導 ・学級会年20回行う学級経営

各部の取り組み

學習部：

- ・板書指導の改善・工夫
- 見通しと振り返りのできる板書（板書は消さない）、めあて・まとめ等マグネット、アラーム
- ・グループ学習や少人数指導など学習形態の工夫
- ・課題一覧表

環境部：

- ・ 教室環境の充実
 - 棚にカーテン、黒板に掲示物を貼らない（黒板がまわりを簡素にし維持する）
- ・ 学年目標、学級目標の色やフォント等の決定
- ・ 連絡黒板
 - ・ 各教科課題掲示
- ・ 全クラス統一の時間割
 - ・ 授業連絡黒板の活動場所マグネット

規律部：

- ・学習規律の確立
- ・生活規律の確立

調査部：

- ・学習規律や授業に関するアンケート
- ・アンケートの集約と分析
- ・アンケートを通して生徒の実態を把握し、各研究部へ情報の提供